

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)T-LOGI加須新築工事	階数	地上4F・地下0F
建設地	埼玉県加須市川口四丁目3番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	225 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年6月14日
敷地面積	13,783 m ²	作成者	大末建設株式会社 渡邊
建築面積	8,908 m ²	確認日	2021年6月14日
延床面積	32,185 m ²	確認者	大末建設株式会社 中村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	埼玉県加須市に計画された物流倉庫である。広大な敷地内の既存緑地や樹木を保存し、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	・耐用年数の長い外装材や内装材、配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮する。 ・十分な階高を確保し、空間の対応性・更新性に配慮する。	・広大な敷地の外周部を積極的に緑化するとともに、既存緑地や樹木を保存し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。	・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。	・燃焼設備を使用せず、大気汚染防止に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)T-LOGI加須新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						3.1	
Q1 室内環境			0.31			3.0			
1 音環境		2.7	0.15			2.7			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		1.8	0.40						
1 開口部遮音性能		1.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音	床と天井の二面に吸音材を使用	4.0	0.20						
2 温熱環境		2.3	0.35			2.3			
2.1 室温制御		3.6	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能	Low-eガラスを採用	4.0	0.25						
3 ゾーン別制御性	大まかなゾーニングがあり、冷房・暖房の選択が可能	4.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		1.0	0.30						
3 光・視環境		3.8	0.25			3.8			
3.1 昼光利用		3.6	0.30						
1 昼光率	昼光率は2.178%	4.0	0.60						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	1.00						
3.3 照度	事務室の照度は662LX	4.0	0.15						
3.4 照明制御	1スパンを2つの点滅区分に分け、細かな照明制御が可能	5.0	0.25						
4 空気質環境		3.7	0.25			3.7			
4.1 発生源対策		4.0	0.50						
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆の建材を採用	4.0	1.00						
4.2 換気		2.3	0.30						
1 換気量		3.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33						
4.3 運用管理		5.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		-	-						
2 喫煙の制御	喫煙室を設け、適切な換気設備を計画	5.0	1.00						
Q2 サービス性能			0.30			3.6			
1 機能性		3.5	0.40			3.5			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33						
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30						
1 広さ感・景観	天井高さ:3.0m	5.0	0.33						
2 リフレッシュスペース	休憩室と自販機置場を計画	5.0	0.33						
3 内装計画		3.0	0.33						
1.3 維持管理		3.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計	防汚性に配慮した材料の採用、外部金属部分の防錆対策の実施等	4.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30			3.3			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	耐用年数の長い断熱鋼板サンドイッチパネルを外装材に採用	5.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数の長いタイルカーペット等の内装材を採用	5.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にCを採用	4.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		3.4	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、受水槽への蛇口設置等	4.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	耐震クラス:Aクラス	4.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	最も低い階の階高:6.0m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.079	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		倉庫設定床荷重:15000N/m ²	5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.61	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.56	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	用途別エネルギー量の把握が可能	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		衛生器具の過半に節水器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル床シート、床:タイルカーペット	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と内装材は容易に分離可能で、かつOAフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料を1種類使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP≤50の断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率=78%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼設備の使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐輪・駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺環境へ配慮した適切な照明計画の実施	4.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)T-LOGI加須新築工事	BEE	1.9	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	2.6	=	6.4	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
<配慮した内容を記述> LED照明を採用することでエネルギー消費量を削減するとともに、LCCO2削減に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 既存緑地及び既存樹木を保存し、生物環境の保全に配慮した。			

:入力欄